



2026年1月号 (No.357)

# 図書館だより



鹿嶋市立

中央図書館 ☎ 0299-83-2510

大野分館 ☎ 0299-69-1114

<https://opac.city.kashima.ibaraki.jp/>

明けましておめでとうございます。



昨年は中央図書館開館40周年記念事業に多くの皆様のご参加をいただき誠にありがとうございました。特に、「心に残る1冊」や「図書館の想い出」などのメッセージを募集した企画では、年齢を問わずたくさんの皆様から思いが寄せられ、職員一同、図書館の重要性を再認識いたしました。

次の10年、20年も、皆様とともに新たなページを紡いでいけますよう、これからも学びと情報の拠点として、身近で頼れる図書館づくりにいっそう尽力してまいります。

中央館・大野分館ともに本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

中央図書館長 齋藤 智美



## 1月開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1 休	2 休	3 休
4 休	5 休	6	7	8	9	10 大野分館 11:00～ おはなし会 「てぶくろ」
11	12 休	13	14	15	16	17 中央館 11:00～ かみしばい
18	19 休	20	21 中央館 15:00～ 心をそだてる よみきかせの会	22	23	24
25	26 休	27	28	29	30 休	31



※1月の中央館「鹿嶋の民話」、「おはなし会」はお休みです。

## 中央館特集コーナー

### 一般・児童

#### 「縁起物」

幸せを願い、福を呼び込むとされ昔から親しまれてきた縁起物の持つ意味やその背景にふれてみてください。

神社やお寺、暮らしに溶け込んでいる物、縁のある食べ物や動物、今年の干支である馬の本を揃えました。



エントランスにて

「大栄システム株式会社様 ご寄贈本コーナー

(IT関連本、児童書)」引き続き展開中です。

## 大野分館特集コーナー

### 児童

#### 「どんな かんじ かなあ？」

困っている人のいろいろなおはなしを集めました。

・どんなことに困っているのかなあ？

・どんな感じ方かなあ？

・どんなふうに考えてるのかなあ？

という気持ちで読んでもらいたいコーナーです。



### 一般

#### 「デビュー作」

様々な作家の最初に出版された作品を集めました。気になっている作家の本を手に取ったり、好きな作家の原点となった作品を今一度振り返るきっかけにしてみませんか。

これから始める方も、すでにご利用している方もぜひご一読を

まだまだ知らないことがあるかも？

## 鹿嶋市電子図書館



### 鹿嶋市電子図書館って？

鹿嶋市には、パソコン・タブレット・スマホなどで電子書籍が読める電子図書館があります。鹿嶋市在住・在勤・在学の方が利用でき、年齢制限はありません。ご利用には図書利用カードとパスワードが必要です。

### 電子図書館にはこんなメリットがあります。

- ・24時間365日利用することができる（インターネット環境下に限る）
- ・借りた本は期限になれば自動で返却
- ・スキマ時間でも読書ができる（お出かけ中にも便利）
- ・持ち運びが便利（重くない）
- ・本棚が必要ない（ミニマリストになります）

なかなか図書館に  
来られない方にも！



### 読書をサポート！電子図書館にはこんな機能があります。

- ・読み上げ機能（非対応あり）
- ・自動ページ送り（速度も変更できます）
- ・しおり機能（読んでいたページがわかります）
- ・文字検索（調べたい語句を検索できます。非対応あり）など

読み上げ機能は  
男声・女声の切り替えが可能



### おすすめ本あります！ぜひご利用ください(\*^\_^\*)

- ・うごく絵本（音楽や音声がでます）、紙芝居
- ・鹿島町史や鯰絵など郷土資料も充実！
- ・毎月新着図書が加わります！

新着はこちら⇒ <https://web.d-library.jp/kashima/g0108/newbooklist/>

チェックしてね



電子図書館のご利用方法がわからないなどありましたら、お気軽に図書館職員までどうぞ。

## おすすめの1冊



### 『二人目の私が夜歩く』

辻堂 ゆめ/著

中央公論新社 (F/913.6/ツ)

交通事故の被害者という共通点を持つ茜と咲子。茜は、後遺症で寝たきりの咲子が、夜に自分の体を借り活動しているらしいと気づき…。

前半「昼のはなし」で描かれる2人の温かな友情や登場人物への印象が、後半「夜のはなし」でがらりとその姿を変えます。他人への先入観、期待、自分を取り繕うこと。読み応えのあるミステリーでもあり、誰しもが持つ多面性を描いた物語でもあります。

何が正しかったのかと考えさせられながらも、最後には前を向く希望も垣間見える1冊です。

## 祝 成人

新たな門出を迎えたあなたにおすすめの本をご紹介します。

成人としての一歩を踏み出すきっかけに読んでみてはいかがでしょうか?

### ・『18歳から「大人」?』

『18歳から「大人」?』編集委員会/編著 汐文社 岡野 民/著 新潮社

### ・『まず良識をみじん切りにします』

浅倉 秋成/著 光文社

### ・『あの時のわたし』

岡野 民/著 新潮社

### ・『月収』

原田 ひ香/著 中央公論新社

### ・『あなたの言葉を』

辻村 深月/著 每日新聞出版

### ・『僕には鳥の言葉がわかる』

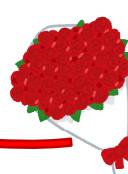
鈴木 俊貴/著 小学館

### ・『成瀬は信じた道をいく』

宮島 未奈/著 新潮社

### ・『隣人のうたはうるさくて、ときどきやさしい』

白尾 悠/著 双葉社



次の図書館だよりの発行は2月1日(日)です。